

年間学習指導計画作成資料（題材の評価規準例を含む）

「中学生の音楽2・3上〈027-83〉」、「中学生の器楽〈027-72〉」

2025年3月（更新版） 株式会社 教育芸術社

【本資料について】

- ・本資料は、弊社発行の令和7年度～用の中学校教科書「中学生の音楽2・3上〈027-83〉」を基本に、令和7年度～用の中学校教科書「中学生の器楽〈027-72〉」の内容を適宜含めて作成されています。（用紙サイズは、A3ヨコ向きで作成されています。）
- ・年間学習指導計画作成の際、教材の選択や時数設定の目安としてご活用いただきますようお願い申し上げます。
- ・本資料は、学年ごとに3学期制（A案）と2学期制（B案）の2種類をご用意しております。
- ・実際の立案に当たっては、各校の実態に応じて両案の題材を差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。
- ・本資料は、学校などにおいて教育を担当する先生方が授業や年間学習指導計画作成の際にご利用いただけるよう作成されています。その目的内でご使用いただく場合のみ、複製・改変することができます。

【扱い時数の目安や評価規準について】

- ・本資料に示された扱い時数は目安であり、教育課程で標準とされる授業時数に即して設定しています。
- ・3学期制（A案）と2学期制（B案）をそれぞれ示しておりますので、各校の実態に応じて、指導される時数や学期を調整の上、ご活用ください。
- ・国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数、評価規準をご設定ください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各校や生徒の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。

【〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について】

- ・各題材に示された音楽を形づくっている要素は、教科書の学習内容に即したものを中心に例示していますが、各校の実態に応じて適宜増減してお取り扱いください。

	題材名	題材の目標	教材名	学習目標 (教科書掲載)	学習指導要領の内容																		扱い 時数 の 目 安	道徳との関連 (例)								
					A表現									B鑑賞			〔共通事項〕															
					歌唱			器楽			創作			鑑賞																		
					ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア及びイ																
					(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	音色	リズム	速度	旋律			テク スチ ュア	強 弱	形式	構成	用語 や記号 など			
1 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	明日を向いて 翼をください *いずれかを選択して扱ってもよい。 My Voice!	曲想の変化を感じ取って、響きのある声で合唱しよう。 パートの役割を理解して合唱しよう。	○	○																								3	A 希望と勇気、克己と強い意志	
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	●表したいイメージと関わらせながら、音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して旋律をつくる。	リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ My Melody	言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。																										3	A 真理の探究、創造	
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎フーガ ト短調	旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。																										2	D 感動、畏敬の念	
	リコーダーの音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	●楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫し、合わせて演奏する。	◆リコーダー LESSON 2、3 *適宜教材を選択して扱ってもよい。																												3	A 向上心、個性の伸長
2 学 期	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	夏の思い出（共通教材） または 荒城の月（共通教材） サンタ ルチア My Voice!	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 歌詞と旋律が生み出す雰囲気味わいながら歌おう。 曲想を生かして表情豊かに歌おう。	○	○																									4	C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 D 自然愛護
	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎「アイーダ」から 指揮をしてみよう！	オペラに親しみ、その音楽を味わおう。																											2	C 国際理解、国際貢献
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	歌い継ごう 日本の歌 *適宜教材を選択して扱う。		○	○																									2	B 思いやり、感謝 B 友情、信頼 D 自然愛護 D よりよく生きる喜び

◎…鑑賞教材 ◆…器楽教材（中学生の器楽）

[illegible]

第2（2・3上）学年〈A案〉－題材の評価規準例－

○…鑑賞教材 ◆…器楽教材（中学生の器楽）

		※下の「主体的に学習に取り組む態度」の項で※及び下線で示した箇所は、本案では一例としていずれも「知識」で取り上げた事項に当たる文言を示していますが、実際の立案に当たっては、〔その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要な、扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容など、生徒に興味・関心をもたせたい事柄〕を適宜設定し、変更の上お使いください。			
題材名		教材名	題材の評価規準例		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう	明日を向いて翼をください ＊いずれかを選択して扱ってもよい。 My Voice!	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	リズムゲーム、リズムアンサンプル、リズムチャレンジ My Melody	[知] 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	◎フーガ ト短調	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] ※ <u>曲想と音楽の構造との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	リコーダーの音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	◆リコーダー LESSON 2、3 ＊適宜教材を選択して扱ってもよい。	[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>楽器の音色や響きと奏法との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
2 学 期	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	夏の思い出（共通教材） または 荒城の月（共通教材） サンタ ルチア My Voice!	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ＊音楽を形づくっている要素は、扱う教材に応じて適宜設定する。	[態] ※ <u>曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	◎「アイーダ」から 指揮をしてみよう！	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	歌い継ごう 日本の歌 ＊適宜教材を選択して扱う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう	◎歌舞伎「勧進帳」 長唄「勧進帳」から ◆「寄せの合方」によるリズムアンサンプル	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 [知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 [知] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [思] 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [思] 音色、リズム、速度、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [態] ※ <u>声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [態] ※ <u>曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	◎世界の諸民族の音楽	[知] 諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	音色や音の重なり方、反復や変化の特徴を捉えて、リズムアンサンプルの表現を工夫しよう	Let's Create! ◆Session I	[知] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。 [知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [思] 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 [態] ※ <u>曲想と音楽の構造との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
3 学 期	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	心通う合唱 ＊適宜教材を選択して扱う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことでと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※ <u>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり</u> に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
		音楽の学びを振り返ろう			
国歌「君が代」		※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じてご設定ください。			

第2 (2・3上) 学年〈B案〉一年間學習指導計画作成資料-

◎…鑑賞教材 ◆…器楽教材（中学生の器楽）

扱い時数の目安：計35時間

[illegible]

第2 (2・3上) 学年〈B案〉一年間學習指導計画作成資料-

◎…鑑賞教材 ◆…器楽教材（中学生の器楽）

扱い時数の目安：計35時間

	題材名	題材の目標	教材名	学習目標 (教科書掲載)	学習指導要領の内容																				扱い 時 数 の 目 安	道徳との関連 (例)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					A表現										B鑑賞		〔共通事項〕																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					歌唱			器楽			創作				鑑賞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア及びイ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
					(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)			(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成	用語や記号など																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
後期	三味線の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	●楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	◆こきりこ（三味線） または ◆荒城の月（三味線）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

第2（2・3上）学年〈B案〉－題材の評価規準例－

◎…鑑賞教材 ◆…器楽教材（中学生の器楽）

	題材名	教材名	題材の評価規準例		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう	道を歩けば翼をください ＊いずれかを選択して扱ってもよい。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
		My Voice!			
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ	[知] 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
		My Melody			
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	◎交響曲第5番 ハ短調	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] ※曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		指揮をしてみよう！			
	ギターの音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	◆カントリー ロード（ギター）	[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	夏の思い出（共通教材）	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
		荒城の月（共通教材）			
		Joyful, Joyful			
		My Voice!			
	文楽に親しみ、その魅力を味わおう	◎文楽「新版歌楽文」から“野崎村の段”	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	[思] 音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] ※音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		義太夫節「野崎村の段」から	[知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	三味線の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	◆こきりこ（三味線） または ◆荒城の月（三味線）	[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
後期	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	歌い継ごう 日本の歌 ＊適宜教材を選択して扱う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	音色や音の重なり方、反復や変化の特徴を捉えて、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう	◆Session I	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
		Let's Create!	[知] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	◎世界の諸民族の音楽	[知] 諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] ※諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	心通う合唱 ＊適宜教材を選択して扱う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
		音楽の学びを振り返ろう			
国歌「君が代」			※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じてご設定ください。		